

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 8 月 18 日

評価対象事業		評価者	都市計画課 担当課長 久保 智史	
まち-11	交通体系整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	都市計画課
重点事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	総合交通	施策の方針	交通環境の整備

1 事業の目的

対象	市民等
意図	安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。
効果	公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

2 令和4年(2022年)度を実施した事業の概要

短期的観光渋滞対策として、市内交差点付近に屋外用IPカメラ及び画像認識型交通量観測装置の設置及び鎌倉市役所内に光回線設備を整備し、計測した交通量等データを閲覧・取得できる環境を構築した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	鎌倉市交通計画検討委員運営事務	鎌倉地域交通計画策定支援業務委託	-	/	-	-	
				19	4,071	4,193	
02	歩行者尊重道路整備事業	歩行者尊重道路整備等業務委託等	整備等を行った歩行者尊重道路の路線数(路線)	0 /	1	1	-
				0	568	568	
03	(仮称)鎌倉ロードプライシング事業	交通需要管理検討業務委託等	-	/	-	-	
				0	7,098	198	
04	短期的観光渋滞対策関連調査事業	-	-	/	-	-	
				44,904	72,499	16,263	
05	鎌倉市交通マスタープラン改定			/	-	-	
				0	0	9,229	
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/	15,499	15,499	
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	44,923	68,737	14,952	
			事業費の合計(千円)	44,923	84,236	30,451	
			人件費(千円)		17,471	15,586	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	2.3	2.1	2.3	2.0		
会計年度任用職員	0	0	0	0		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	鎌倉市交通計画検討委員運営事務	指標を設定しない。(委員会の運営に関する内容となることから、指標の設定に馴染まないため。)	交通計画の策定は、基本計画で目標とする鎌倉らしい交通環境の整備に必要な取組である。	(仮称)鎌倉ロードプライシングの検討状況を見据えながら、鎌倉地域地区交通計画の策定を行っていく予定であるが、(仮称)鎌倉ロードプライシングについては制度的、技術的な課題を抱えており、現在国土交通省に支援を求め、検討している最中である。
02	歩行者尊重道路整備事業	歩行者尊重道路として位置けている路線が9路線あり、優先順位を決定し、順次実施することとしているため。	歩行者尊重道路の整備は、生活道路への通過車両侵入を抑え、安全で快適な市民生活を確保することを目的とし、基本計画で目標とする交通環境の改善に必要な取組である。	物理的なデバイス(ハンブ・狭さくなど)の整備が難しいことから、令和2年度において、“立体に見える”路面標示等の試行的な取組を行ったことの効果を引き続き検証し、他路線への展開も踏まえ検討を進めていく。
03	(仮称)鎌倉ロードプライシング事業	指標を設定しない。(仮称)ロードプライシングについては制度的、技術的な課題を抱えており、現在国土交通省に支援を求め、検討している最中であり、現時点での指標の設定が行えないため)	ロードプライシング等に交通需要マネジメント施策の推進は、基本計画で目標とする交通環境の改善に必要な取組である。	ロードプライシングについては、制度的、技術的な課題を抱えており、現在国土交通省に支援を求め、検討している。
04	短期的観光渋滞対策関連調査事業	指標を設定しない。(短期的に実施可能な交通環境改善施策の推進について、現在国土交通省に支援を求め、調整している最中であり、現時点での指標の設定が行えないため)	ロードプライシング等に交通需要マネジメント施策の推進は、基本計画で目標とする交通環境の改善に必要な取組である。	鎌倉市域における交通渋滞の解消のためのロードプライシングの導入に向けた検討、及び短期的な渋滞対策等の観光渋滞対策について、国土交通省と市で協定を締結した。引き続き国土交通省と協議を継続する。
05	鎌倉市交通マスタープラン改定			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか		2 統合に向けて検討できる事業がある
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		3 上位施策の貢献度を計ることはなじまない
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	○-1 受益者負担を求めているが、その額や対象等を再検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
			協働実施済の場合のパートナー 市民、商工業者、交通事業者、関係行政機関等

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 拡充 改善・変更 現状維持 縮小 休止・廃止

- ・鎌倉地域の交通渋滞解消に向けた自動車利用の抑制策等の検討については、平成8年に20の施策を位置付け事業推進を図り、一定の成果は出ている。しかし、20年以上経過する中で、市内道路の混雑状況は大きく変わることはなく、その解消に向けた抜本的な対策を求める市民のニーズが高いことから、事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい。
- ・令和2年1月15日に、「ロードプライシングの早期実現に関する要望書」を国土交通省に提出し、ロードプライシングの早期実現を目指した、より一層の制度的、技術的な支援と、交通環境の改善を目指した、短期的な取組に関する技術的な支援を要望した。
- ・自動車利用の抑制策の一つである(仮称)鎌倉ロードプライシング及び短期的に実施可能な交通環境改善施策の実現に向けた検討を進めていく。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	整備や協議等を行った歩行者尊重道路の路線数						単位	本
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
歩行者尊重道路として位置けしている路線が9路線あり、優先順位を決定し、順次実施することとしているため。	目標値	1	1	1	1			
	実績値	1	0	0				
	達成率	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			

指標(単位)								単位
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--